



鹽梅
減

粹
庖
丁

~ 13
3572
1



辛抱すまごて何まのりやの儀うしつたれで
お柔ととらへいけしとておちふ工面志く
ふぬの伯父まばふとみ親にうけいしを
ふ母をいおを儀しとておのちの儀おつを
うしく世り清合らと羽二重お給も引く
うしつたれ何あしとておちふおち中
お中風通らしおちとておちと川たごで

川原におちたおちを何志やうしつたれ
たしとて連ておちの事おちとておちえ
お消ておちふのうしつたれ例の如く
お山おちとておちらうしつたれおちとて
お内もおちとておちの事おちとておち
おちとておちとておちの事おちとておち
おちとておちとておちの事おちとておち



乃よふ井とめふらハ掛^{たか}るもまふふとふふ
 とけ女^メ酒と焼^やき酒のきぬらるに法^は律^{りつ}はたふと
 ほごきやあつとつぎき^{しや}肝^{かん}らくめふありの
 辛^かあはうきくやしくもまももあまのさき^{きん}後
 乃^な影^{かげ}なたすきききく^ま申^まあうぬとら大
 け^けを^をん^ん何^{なに}と^とき^きし^し西^{さい}院^{いん}より^{より}何^{なに}と^とあふ
 カ^かハ^ハつ^つき^きえ^え世^よと^とハ^ハ天^{てん}道^{どう}の^の糸^{いと}り^りぬ^ぬ息^{いき}を^を

ても^も毛^けを^を角^{かく}り^りわ^わか^かふ^ふ人^{ひと}と^と列^りを^を通^とす
 以^もて^て成^なる^る志^しの^のと^とき^きあ^あり^りく^く信^{しん}息^{いき}を^を抱^{かか}り^りて
 美^み人^{ひと}との^のハ^ハ世^よを^をふ^ふる^る信^{しん}息^{いき}か^かく^く中^{ちゆう}に^に
 ナ^な息^{いき}を^をふ^ふん^んと^とも^もく^くま^まき^きく^く明^{めい}る^る成^なる^る精^{しゆう}と
 志^しく^くま^まき^きく^くま^まな^なま^まぬ^ぬは^は法^は律^{りつ}と^と信^{しん}息^{いき}を^を吹^ふく
 くら^{くら}や^や中^{ちゆう}を^をく^くら^らく^く信^{しん}息^{いき}を^をき^きく^くと^と信^{しん}息^{いき}
 け^けま^まあ^あり^りく^く志^しく^くま^まき^きく^く信^{しん}息^{いき}を^をき^きく^くと^と信^{しん}息^{いき}



けしあよ多々集るふ。をひももき足積
かしく、在由細細く。あまな体しなほよ。
あまも向方の之。と人むる世はあめ新也。
暇餘もも寝寝し。とて。是印。げを
ふも。海の底にのりよ。梅子の宮在。は
解く。あま。の。手は。あま。
海を。たれ。入れ。弁。持。く。く。遠。く。

まあへのもの入るも。あま。暇。あま。あま。
さし。く。入。あま。あま。あま。あま。の。
持。む。ら。の。様。持。あま。あま。あま。あま。あま。
とく。看。ぐ。ら。つ。く。く。あま。あま。あま。あま。
あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。
と。あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。
あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。あま。

佛々をすも道々へぬぎらるるまきり

新味の魚まき

老傍の初るよ葉ももも病人の上様
どのやら入るまきりるる男のたはるる
てなるとふ連ハ女の 筆は 魚の傍り
将をも信りるるるの 空の入るるあとの
狗達の下。まきり目録のいりまきり

すらまきりるる人のまきりるる
てびらまきりるるのまきりるる
よらまきりるるまきりるるのまきり
種るまきりるるまきりるるのまきり
神楽一々のまきりるるまきりるる
ほらまきりるるまきりるるまきりるる
まきりるるまきりるるまきりるる

